

東三河から豊橋の

まごころ置など採択

県循環型社会形成推進事業費補助金

県は9日、2018年度県循環型社会形成推進事業費補助金の採択結果について、応募のあった32件中21件の事業を採択したと発表した。

同事業は、地域の環境産業の振興を図り循環型社会の形成を促進するため、産業廃棄物税を活用して、先導的で効果的な

①リサイクル関係施設②排出抑制関係施設③地域ゼロミッション関係施設などの整備④循環ビジネスの事業化検討—の各事業に要する費用の一部を補助する県独自の制度。

今年3月1日から4月27日まで募集。32件(①9件②5件③0件④18件)の応募があり、審査

の結果、うち21件(①6件②4件③0件④11件)を採択した。

東三河では①で中日精工(豊川市)の「蒸留装置の導入による間伐材蒸留廃液からの脱臭剤の効果的製造」、②でまごころ置(豊橋市)の「廃置を固形燃料に生まれ変わらせる業界初のリサイクル施設建設」の2事業が採択された。(後藤康之)